

書籍『松がつなぐあした - 震災10年 海岸林再生の記録 -』発売！

～元新聞記者が綴る、

津波で失われた宮城県名取市の海岸林再生に立ち上がった人たちの物語～^{ドキュメント}

公益財団法人オイスカ(本部・東京都杉並区/理事長・中野悦子)は、東日本大震災復興支援として、震災直後から津波で失われた宮城県名取市の海岸防災林の再生に取り組み、2021年3月で10年の節目を迎えます。

元日本経済新聞論説委員の小林省太氏が10年間、「海岸林再生プロジェクト」(別紙参照)に密着して100人以上にインタビュー取材を重ね、その記録をまとめた『松がつなぐあした』(愛育出版)が、2020年12月に発売されました。



【内容】

東日本大震災の津波で消失した宮城県名取市の海岸防災林100ヘクタールの再生に取り組む被災農家や地元の人々と、NGO オイスカの10年の活動を追ったドキュメント。あわせて、海岸防災林の役割や防災林としてのクロマツの適性、松くい虫対策なども解説。

被災地に限らず、南海トラフ地震などの大規模な地震の発生が予測されている中、全国津々浦々に存在する海岸林の育成には長い年月にわたる不断の手入れが必要であり、そのためには若い世代の関心・関与が欠かせないことも強調している。

<プロモーション動画>

<https://www.youtube.com/watch?v=NVlgGBv6weU>

【仕様】

書名：松がつなぐあした
著者：小林省太(元日本経済新聞論説委員)
体裁：四六判上製
本文 224 ページ+巻頭カラー8 ページ
定価：1,300 円+税
発行：2020 年 12 月
発行元：愛育出版

【著者紹介】

こばやし・しょうた
1955(昭和30)年東京都生まれ。
東京大学文学部卒。日本経済新聞社入社。ウィーン支局長、パリ支局長、文化部長などを経て論説委員。退職後、公益財団法人オイスカのアドバイザー。共著、一部訳に『フランス女性はなぜ結婚しないで子どもを産むのか』(勁草書房)、『映画監督 小林正樹』(岩波書店)など

○ 著者への取材、宮城県名取市の海岸林再生の現場での取材も可能です。下記までお問合せください。

【本リリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人オイスカ 海岸林再生プロジェクト担当 吉田俊通

〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-17-5

E-mail : kaiganrin@oisca.org Tel : 070-5550-7394 URL : <http://www.oisca.org/>



PRESS RELEASE 別紙

【「海岸林再生プロジェクト第1次10ヵ年計画」概要】

期 間：2011年3月～2021年3月

実 施 主 体：名取市海岸林再生の会、公益財団法人オイスカ

協 定 締 結 先：林野庁東北森林管理局仙台森林管理署、宮城県、名取市

協 定 面 積：名取市内海岸林・内陸防風林 103.05ha(全長約5km)

総 費 用：全額を民間寄附金・助成金で実施(2040年までの管理費用を含む)

ホームページ：<http://www.oisca.org/kaiganrin/>



植栽地中央地点から南を臨む (2020.9.15 撮影)



数ミリの種から育てたクロマツは、8年間で5m以上に成長しているものもある (2020.6.20 撮影)

【団体概要】

団 体 名：公益財団法人オイスカ

所 在 地：東京都杉並区和泉 2-17-5

代 表 者：理事長 中野悦子

設 立：1961年

U R L：<http://www.oisca.org/>

事業内容：

本部を日本におき、36の国と地域で活動する国際 NGO。主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開。国内では、農林業体験セミナー開催などを通じた啓発活動、植林や森林整備などの環境保全活動を展開